2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	作業療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	基礎作業療法学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	5F木工室等実習室
担 当 教 員	OT学科専任教員	実務経験とその関連資格	作業療法士として病院・施設に勤務し,治療として対象者に作業を実践をしてきた。			

《授業科目における学習内容》

作業療法を実践するためには、対象者ひとりひとりに目的と意味のある作業を提供・実施し、治療を進めることが大切である。この科目では、生活における行為・行動・動作のすべてが目的と意味のある作業であることを学ぶ。さらに、作業分析の基礎学習に加え、実際に作業分析を行うことで作業の特性についても学ぶ。この科目での学びは、今後の各疾患の評価学・治療学を学ぶことで、個人的要素、社会的要素、疾患とその状況に応じて対象者ひとりひとりに適した作業を選択して治療を進めることができるようになる。

《成績評価の方法と基準》

期末試験30%、手工芸(革細工、籐細工、陶芸)の作品・レポート(工程分析、作業分析)70%で評定する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

■教科書: 標準作業療法学　専門分野　基礎作業療法学[第4版](医学書院)、
つくる・あそぶを治療にいかす 作業活動実習マニュアル[第2版](医歯薬出版)
■参考書: ひとと作業・作業活動 作業の知をとき技を育む (三輪書店)

《授業外における学習方法》

基本的に次の通り。
事前学習(30分) 教科書を読んで予習する。
事後学習(30分) 講義内容をまとめ復習する。

《履修に当たっての留意点》

作業療法を学ぶために、作業について理解することが重要です。主体的に予習・復習に取り組むこと、分からない点は教員へ質問するようにして下さい。

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	①作業療法が扱う革細工を用いた治療的応用について理解できる	教科書	事前学習 シラバスを読む。(30分) 事後学習 本日の講義をまとめる。(30分)
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション 籐細工で使用する材料、道具と工程について		
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	①作業療法が扱う革細工を用いた治療的応用について理解できる	教科書	事前学習 人の進化・生活と作業・脳と作業・手と作業・身体と作業。(30分) 事後学習 本日の講義をまとめる。(30分)
		各コマにおける授業予定	籐細工		
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	①作業療法が扱う革細工を用いた治療的応用について理解できる	教科書	事前学習 こころと作業・学習と作業・コミュニケーションと作業。(30分) 事後学習 本日の講義をまとめる。(30分)
		各コマにおける授業予定	籐細工		
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	①作業療法が扱う革細工を用いた治療的応用について理解できる	教科書	事前学習 作業のクオリア・作業と結果の特性・ひとが作業すること。(30分) 事後学習 本日の講義をまとめる。(30分)
		各コマにおける授業予定	籐細工		
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	①作業療法が扱う革細工を用いた治療的応用について理解できる	教科書	事前学習 生活機能の構成・作業遂行と統合生活機能。(30分) 事後学習 本日の講義をまとめる。(30分)
		各コマにおける授業予定	籐細工の工程分析、作業分析		

授業の方法		内　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	②作業療法が扱う籐細工を用いた治療的応用について理解できる	教科書	事前学習 作業分析の歴史・目的・種類。(30分) 事後学習 本日の講義をまとめる。(30分)
		各コマにおける授業予定	革細工で使用する材料、道具と工程について		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	②作業療法が扱う籐細工を用いた治療的応用について理解できる	教科書	事前学習 包括的作業分析・限定的作業分析。(30分) 事後学習 本日の講義をまとめる。(30分)
		各コマにおける授業予定	革細工		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	②作業療法が扱う籐細工を用いた治療的応用について理解できる	教科書	事前学習 作業の利用・選択。(30分) 事後学習 本日の講義をまとめる。(30分)
		各コマにおける授業予定	革細工		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	②作業療法が扱う籐細工を用いた治療的応用について理解できる	教科書	事前学習 ことばと作業・社会脳と作業療法。(30分) 事後学習 本日の講義をまとめる。(30分)
		各コマにおける授業予定	革細工		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	②作業療法が扱う籐細工を用いた治療的応用について理解できる	教科書	事前学習 作業分析Ⅲ。(30分) 事後学習 本日の講義をまとめる。(30分)
		各コマにおける授業予定	革細工の工程分析、作業分析		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	③作業療法が扱う陶芸を用いた治療的応用について理解できる	教科書	事前学習 作業分析Ⅳ。(30分) 事後学習 本日の講義をまとめる。(30分)
		各コマにおける授業予定	陶芸で使用する材料、道具と工程について		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	③作業療法が扱う陶芸を用いた治療的応用について理解できる	教科書	事前学習 作業分析Ⅴ。(30分) 事後学習 本日の講義をまとめる。(30分)
		各コマにおける授業予定	陶芸		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	③作業療法が扱う陶芸を用いた治療的応用について理解できる	教科書	事前学習 作業の技―作業が活きる条件・作業で伝えること。(30分) 事後学習 本日の講義をまとめる。(30分)
		各コマにおける授業予定	陶芸		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	③作業療法が扱う陶芸を用いた治療的応用について理解できる	教科書	事前学習 かかわり・観察・面接・評価・治療・援助。(30分) 事後学習 本日の講義をまとめる。(30分)
		各コマにおける授業予定	陶芸		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	③作業療法が扱う陶芸を用いた治療的応用について理解できる	教科書	事前学習 第1回～14回までの振り返り。(30分) 事後学習 まとめ学習。(30分)
		各コマにおける授業予定	陶芸の工程分析、作業分析		